

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 7 部門第 1 区分
 【発行日】 平成 19 年 5 月 31 日 (2007.5.31)

【公開番号】 特開 2005-310593 (P2005-310593A)
 【公開日】 平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)
 【年通号数】 公開・登録公報 2005-043
 【出願番号】 特願 2004-127004 (P2004-127004)
 【国際特許分類】

F 2 1 V 8/00 (2006.01)
G 0 2 B 5/02 (2006.01)
G 0 2 B 6/00 (2006.01)
G 0 2 F 1/13357 (2006.01)
 F 2 1 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 2 1 V 8/00 6 0 1 C
 F 2 1 V 8/00 6 0 1 E
 G 0 2 B 5/02 B
 G 0 2 B 6/00 3 3 1
 G 0 2 F 1/13357
 F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】
 【提出日】 平成 19 年 4 月 10 日 (2007.4.10)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 特許請求の範囲
 【補正対象項目名】 全文
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

光源と、
 前記光源の光を用いて照明面から光を出射する、フィルム基板で形成された導光板と、
 前記光源からの光が入光する入光部と前記導光板に光を出射する光出射部を有する入光体と、

前記導光板の照明面とは反対側に設けられ、特定角度範囲で入射した光を散乱するとともにそれ以外の角度で入射された光を透過する指向性散乱層と、を備え、

前記特定角度範囲の中心角は前記導光板の照明面に垂直な基準線に対して前記光源が配置されている側に傾斜しており、

前記入光体の光出射部と前記導光板を固定するために、前記入光体の光出射部と前記導光板を挟むように一対のフィルムが設けられたことを特徴とする照明装置。

【請求項 2】

前記一対のフィルムの一方が、前記指向性散乱層としての機能を有するレンズシートであることを特徴とする請求項 1 に記載の照明装置。

【請求項 3】

前記一対のフィルムの他方が、第二の特定角度範囲で入射した光を散乱するとともにそれ以外の角度で入射された光を透過する第二のレンズシートであり、前記第二の特定角度範囲の中心角は前記導光板の照明面に垂直な基準線に対して前記光源が配置されている側とは逆側に傾斜していることを特徴とする請求項 2 に記載の照明装置。

【請求項 4】

前記導光板の照明面側には、第二の特定角度範囲で入射した光を散乱するとともにそれ以外の角度で入射された光を透過する第二の指向性散乱層を備えるとともに、前記第二の特定角度範囲の中心角は前記導光板の照明面に垂直な基準線に対して前記光源が配置されている側とは逆側に傾斜していることを特徴とする請求項 1 に記載の照明装置。

【請求項 5】

前記入光体は、前記入光体の厚みが前記入光部側から前記光出射部側に向かって順次薄く構成されたことを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の照明装置。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の照明装置と、前記照明装置の光照射面側に設けられた非自発光型の表示素子とを備えることを特徴とする表示装置。